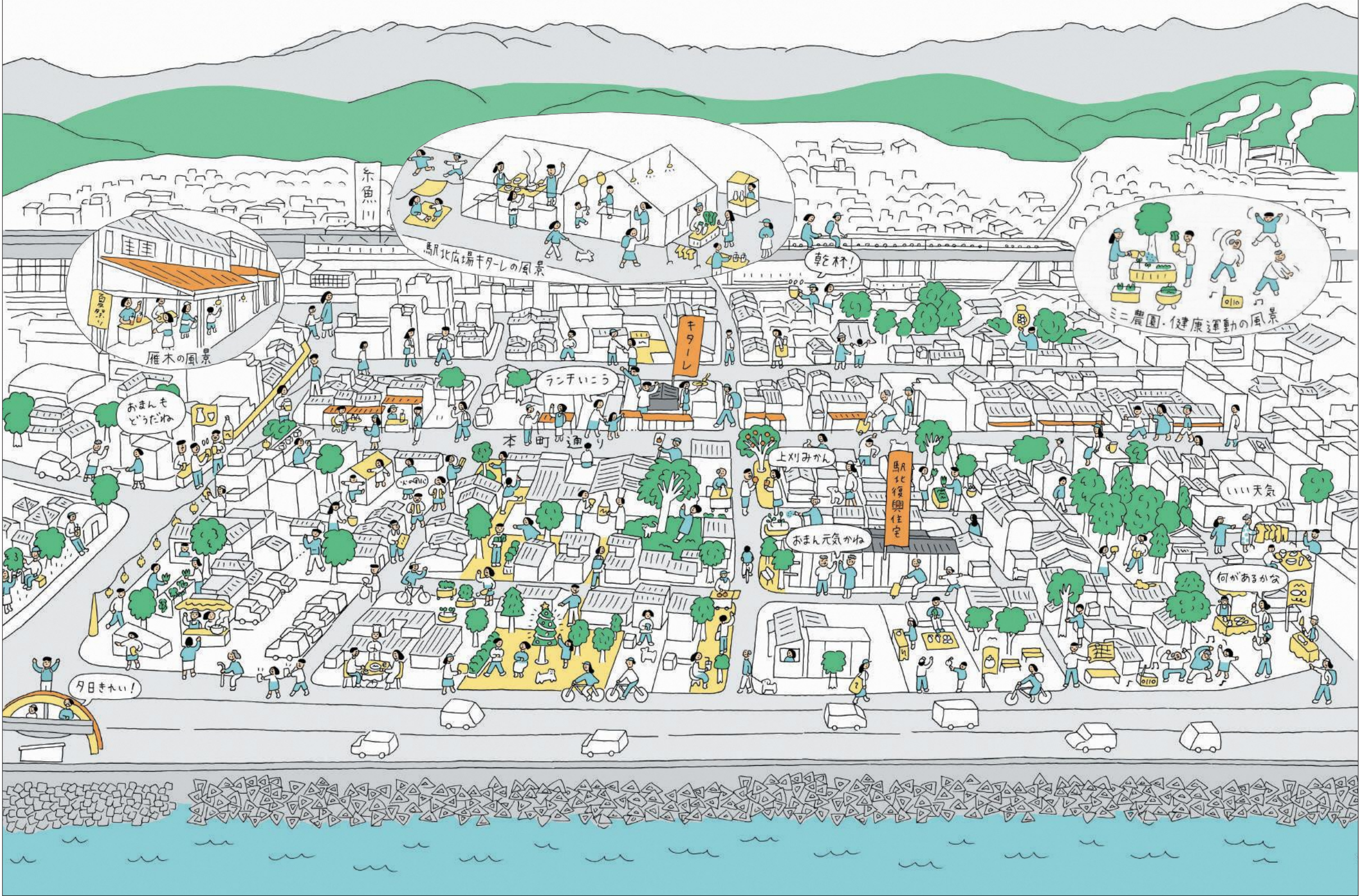


糸魚川市

駅北まちづくり戦略とは

平成28年12月22日に発生した糸魚川市駅北大火。復興の向こうを見据えたまちづくりに向けて、その実践のための取組の方向と実践活動を示したものが「駅北まちづくり戦略」です。これまでの人口構成の不均衡、中心市街地に対する活用需要の低下等の課題を意識し、まちの変化に柔軟に対応できる持続的な取組を進め、他の地区の活動等との相互連携によってより大きな効果を発揮していきます。

まちなか大家族 -つながり、育む、豊かな暮らし-



取組の方向と実践活動

ACTION
子育て

一まちぐるみで
子どもを見守り、育てようー

■まちなかアソビバ

子どもたちがワクワクする遊び場、子どもたちの様子を見守りながら、パパやママも安心して気軽に交流できる場所と機会を作ります。

■まちなかプライド

子どもから高齢者までが楽しむことができる機会（昔ながらの地域のお祭り等）や大火からの復興・未来を照らすイルミネーションを通して、まちへの愛着と誇りを育みます。

ACTION
地産地消

一糸魚川にあるもので、
豊かに暮らそうー

■まちなかミニ農園

食や農への理解を深める体験がまちなかでできることで、地元で生産される農作物への興味を広げ、その価値を知り、意識して利用する輪を広げます。

■地産地消の料理教室

地元食材や郷土料理等について学び、作り、食べることで、糸魚川ならではの食文化を理解し、食を通じた世代間交流の場を生み出します。

■小さなマルシェ（朝市）

気軽に歩いて買い物ができる場を提供し、出店者や来場者として市民がまちなかを回遊するきっかけをつくります。

ACTION
高齢者
元気

ーいつまでも、ピンピン
にっこり暮らそうー

■まちなか健康運動

健康で生き生きと暮らし続けるために「GEO（ジオ）体操」の普及モデル活動を展開します。